

昭和一九三七—二〇四八

独立重砲兵
第百大隊平山隊

作命一級

(球一八四部隊平山隊)



原本史料

防衛研修所戦史室

YIP

Extractions made where noted - translation to follow 3rd Amphib Corps

YIP
140
100
100

作
命
緩
隊
内

平
山
隊

RS 78867
Cincin-Cincpoa 1598
B- 1587
Okinawa 6 May 46

WDC # 6730
151769

44066

28861

平作命 第一号

平山隊 命令

七月廿七日。嘉手納農林学校。

一 平山大尉以下八名。今般球第一八〇部隊に配属せしむ。

二 戰鬥遂行上、要する基を編成し、中隊に準せしむ。且事務及其

他、便宜上、球第一八〇部隊平山隊と呼稱す。

編成別紙、如く定む。

三 隊の命令、間現在地、宿營の戰鬥準備、陣地、偵察及

構築ヲ実施セントス。

四 各小隊、別命アル迄兵器々材、整備並に教育訓練に任ず。

トシ

五 予、嘉手納附近、陣地偵察に任ず。

隊長 平山大尉

下達迄 口達

平作命第二号(獨表四四旅作命第八号)

平山隊命令

八月三十一日
三〇〇

一 旅団ノ新兵田ノ未着ニ伴^{中村伍長以下二十一名ヲ指揮シ}移駐ス

二 隊ハ八月五日迄ニ現在地ヲ撤シ本部町附近ニ進駐シ取敢

ハズ兵器材料ヲ集積セントス

三 高田准尉ハ成ル可ク速カニ中村伍長以下二十一名ヲ指揮シ第(次)觀

通器材及彈藥ノ輸送ニ任シ且中間宿營地タル名護沖隈第

三高等女学校ノ設營ニ任ズベシ自動貨車二(運轉手助手共)ヲ

備ス

中村伍長以下ハ輸送終了後中間宿營地ニ於テ器材監視及主力

爲メ宿營設備ニ任ズベシ

三 河村中尉ハ一部ヲ以テ四日以後中間宿營地ニ対スル重材料ノ輸

送ニ任ズベシ

四 古賀少尉ハ旅団ノ援助ヲ得テ主力ヲ以テ輕材料ノ搬入地ニ對ス

海上輸送ニ任ズル

八月四日第一便ニ露露格材料（八種）天幕其他（音分）自炊材料（含糧秣）卸下ニ監視要員（下士官以下約四十名）ヲ遣輸送スルニ
五、山白桐軍曹ハ渡久地附近ノ設營ニ任ズル
六、喜加手敵名護ニ在ル人員ノ給養ニ務メテ渡久地ニ在ル人員給養ハ部隊自炊ニ依ルベシ
之名護及渡久地ニ到着セル人員ニ爾後ノ行動ニ因リテ公別命ス

八月三日先行シテ渡久地ニ在リ八月四日午後五時敵ニ到ル

下達迄 口達

隊長 平山大尉

平作命第三号

平山隊命令

八月五日一六〇

一隊ハ成可ク速ク本部町ニ集結シ宿營配備ヲ完了シテ次期ノ行動ニ移行セントス

二河村中尉ハ引續キ名護一渡久地間ニ於ケル露露材料輸送ニ任ズル

三高田准尉ハ名護中間宿營地ヲ撤シ殘餘ノ人員露露材料ヲ指揮シ渡久地ニ推進シテ古賀少尉ヲ指揮スベシ

四古賀少尉ハ別任務ヲ續行スベシ

高田准尉以下ハ渡久地到着ニ伴ヒ之ヲ併セ指揮シ夜止場ヨリ

邊名地ニ至ル道路ヲ補修ス及到着荷物ノ宿營地（辺名地）

輸送ニ任ズル

五、予ノ現地戰術終了後辺名地ニ到ル

隊長 平山大尉

下達迄 筆記交付

平作命第四号(独混一五作命第一八号)

平山隊命令

八月七日
込名地

一隊ハ今般独立混成第十五聯隊ニ配属シ命ゼシレ當分向込名地ニ宿営シテ取敢ハス込名地野戦陣地ヲ占領シテ以後桃山南側地区及ニ〇七高地附近ニ堅固ニ陣地ヲ構築セントス

二宿営少尉ハ日〇八〇迄ニ隊事務室ト聯隊本部間ノ有線連絡ヲ完了スベシ

三宿営同ニ於ケル起居ハ別冊内務暫行規定ニ據リ実施スベシ
四指揮隊及段列ハ八月十三日一〇〇迄ニ宿営地附近ニ於ケル防空施設交通路ノ補修兵器器材ノ檢護分散遮蔽

ヲ完了スベシ其ノ細部ニ関シテハ高田准尉之ヲ区處スベシ
五戦死隊ハ取敢ハス伊以島ヲ射撃手ニ得ル如ク八月十一日一〇

迄ニ先ツ一門ハ八月十五日一〇〇迄ニ全火砲ノ陣地進入ヲ完了スベシ

六、山田桐軍曹ハ觀測手ニ部ヲ指揮シ陣地附近ノ測圖ヲ実施
シ八月十一日ハ〇時ニ提出スベシ

七、給養ハ部隊自炊ニ依ルモノトシ別食ハ勉メテ現地物資
ヲ活用スルニ勉ムベシ

八、河村中尉ハ戦夜隊ニ所要ノ指示ヲ與ヘ高田准尉ノ区處ヲ
管轄スルニメタル後予ニ隨行スベシ

九、古賀少尉ハ指揮隊ヲ隊要員ヲテ高田准尉ノ区處ヲ管
轄スルニメタル後予ニ隨行スベシ

十、林山南側地区及二〇七高地ニ於ケル陣地ノ構築ニ関シ
ニハ別命ノス

十一、予ハ桃山南側地区ノ編制偵察ニ任ズ
隊長 平山大尉

ト達法 口達

平作命第五號 (獨混一五作命第一九號)

平山隊命令

八月十六日〇時

一、隊ハ主トシテ伊江島掩護狀況ニ依リ各護灣西方海域閉塞
ノ目的ヲ以テ左ノ如ク展開スベク堅固ニ陣地ヲ構築セントス

觀測所 二〇七高地 (作美台ト命名ス)

補助觀測所 謝花西南方高地 (神場ト命名ス)

前進觀測所 伊江島一七二高地 (三浦台ト命名ス)

放列陣地 桃山東側地區 (新行橋ト命名ス)

放列位置 喜納原附近 (神山ト命名ス)

之ヲ爲シ八月十七日ヨリ工事ニ着手シ九月中旬迄ニ戰半準備ヲ概
成シ九月下旬迄ニ觀測所及放列陣地ノ射裏立ニ觀測設備ヲ完
成セントス

二、高田准尉ハ新井軍曹以下〇名ヲ指揮シテ築城材料ノ蒐集
所要ニ應ジ陣地附近ノ運搬ニ任ズベシ

自動運車二(運轉手共)ヲ屬ス

三古賀少尉ハ指揮小隊ヲ以テ觀測所ノ構築ニ任ズベシ

築城材料集積ノタメ新井軍曹以下六名ヲ高田准尉ノ指

揮ニ入ルバシ

四河村中尉ハ戰砲隊及銃列要員ヲ併セ指揮シ放列障地ノ構築

ニ任ジ九月二十日迄ニ火砲ノ進入ヲ完了セシムベシ

築城材料集積ノタメ小野山兵長以下四名ヲ高田准尉ノ指揮

ニ入ルバシ

五障地ノ施設程度基準及數量附表第一ノ如シ

六銃列位置及補助前進觀測所ノ工事開始ニ就テハ別命ス

七金井軍曹ハ火工兵ヲ指揮シ各障地ノ爆破作業ノ指導竝ニ

實施ニ任ズベシ

八高田准尉ハ銃列ヨリ敗事要員トシテ常時四名ヲ配置シテ稀代

軍曹ノ指揮ヲ受ケシムベシ

九作業員ノ配置ニ関シテハ其ノ都度指示ス

十了ハ放列障地觀測所ノ順ニ巡シ爾後適時作業狀況ヲ

巡視ス

隊長 平山大尉

平作命第六号

平山隊命令

九月十五日
田名地

一 敵遺取、公算ハ逐日増大ニシテアリ

二 隊員遺取ヲ以テ障地構築作業ニ従事シ敵列障地ノ

諸施設ヲ撤去シ障地ノ工事ヲ飛躍的ニ促進ヤシムル可ク

一 速カニ作業準備ヲ完了セシム

二 作業人員朝暮兩部ニ分テ、河村中尉ノ指示セシム

三 作業向陽メテ給養ノ向上ヲ図ルモノトシ、段列長ハ日夜食ノ支

給ニ就キ計画実施スベシ

五 火夜、障地進入ハ遅クモ九月三十日迄ニ完了セシムベク、全作業

ハ十月下旬中ニ完了セシムベシ
又、障地ノ構築ハ、前二時、視察前ノ作業ヲ中止ス

隊長 平山大尉

將校



平作命第7号(獨混密接作命第3号)

平山隊命令

九月二十日ロメロ

一 旅團に軍令大決心。基十伊江島飛行場建設任務ヲ奉テ九月
空地区司令官ヨリ継承シ九月三十日迄ニ之ヲ完成ス

二 隊の一部ヲ以テ第六作業隊トナシ本作業ニ参加セシメントス

三 高田大尉ハ別紙人員名簿ヲ指揮シ第六作業隊長トシ九月二

十三日伊江島旅團司令部ニ至リ高級部員ノ指示ヲ受クベシ

四 派遣内ノ給養ハ旅團司令部ヨリ之ヲ受クベシ

五 輸送ニ関シテハ在港地機動隊ト協定スベシ

六 派遣同隊主カトノ連絡ハ電話ニ依ルベシ

七 其ノ他ノ現任務ヲ續行スベシ

隊長 平山大尉

下達法 副隊長 安田少佐

平作命 第七号別紙

第六作業隊編成表

隊長

高田大尉

分隊長

佐藤軍曹

牽引車手

江崎上等兵

助動車手

山下上等兵
小林一等兵

同

武智一等兵

携行兵

武智一等兵

九二式

武智一等兵

軽油

武智一等兵

百八十五

宿營材料

服装

軍靴、軍褌ト、飯盒、水筒ヲ携行ス

平作命 第八号

平山 隊命令

九月二十日 一九〇〇 名 大

一隊、第六作業隊ノ編成裝備ヲ厘化セントス

二、因丸上等兵ハ杉野一等兵ヲ指揮シ、輕油三百六十五ヲ携行シ、

伊江島ニ至リ、高田大尉ヲ指揮ス受クバシ

隊長

平山大尉

下達法

圖符者ニ以テ達ス

1	秋將
2	
3	
4	官士准
5	長兵
6	
7	
8	
9	
10	

平作命第9號

旅團 平山 隊 命令

八月三十日 邊 各 旅

旅團、今般其、準備計畫、改訂セラル

旅團、國頭地方、準備方針、伊豆島及本部半島、確保スルニテ、國頭郡内ニ在

物ニ本島南部、主作戰、容易ニシテ在、

独浪半十五隊隊主力、北地区隊、某ニ歩兵隊主力、南地区隊、テ、渡及地、

伊豆味、吳我山、港道、地区、境東、本部半島、要地、確保、且、渡兵

陣地、掩護ス

旅團、成兵隊、旅團主力、主決戰方面ニ於テ、敵ヲ擊滅ス

當隊、任務、本部半島、復舊陣地、止テ、得テ、本部半島、内ニ陣地、占領、敵

ヲ、伊豆島、飛行場、使用、不能、ニシテ、在リ

隊、九月、二、日、以テ、独浪、十五隊、隊ヲ、配屬、解テ、旅團、直轄、ニ復テ、旅團、新

守備、計畫、其、桃山、南側、現陣地、(新行橋)、ヲ、速ニ、撤去、シ、新ニ、復舊、陣

地内ニ、構築、ス、新陣地、工事、着手、セリ、ス

角田伍長ハ現作業要員ヲ指揮シテ作業ヲ續行シ十月五日迄ニ放列陣地ニ概
成セシムベシ但シ左分隊皮車換体工事ハ現在ノ程度ニ止ルベシトス

四新井軍曹ハ指揮小隊ノ主力ヲ指揮シ陣地ニ進入進出路工事ヲ實施シ
十月二日迄ニ之ヲ完成セシムベシ

細部ニ関シテハ現地ニ就キ之ヲ指示ス

小田桐軍曹ハ觀測手ヲ指揮シ芝草敷新放列陣地(船室)命名ニ所
近ノ碎部測量ニ任ズベシ

細部ニ関シテハ現地ニ就キ之ヲ指示ス

河村中尉古賀中尉ニテ同行シ陣地細部偵察ニ任ズベシ

新陣地構築作業、細部ニ関シテハ別ニ指示ス

隊長 平山 大尉

下達法

報告(通報)失

旅團 独混五 歩歩兵隊 同第一大隊

平作命 第十號(独混四旅作命 第四四號)

平山 隊 命令

九月三十日 一九〇〇

一 旅團ハ既屬海軍砲二門ヲ本部半島複廓内ニ陣地ヲ占領セシム以テ既

二 予ハ獨浪四四旅作命 第四四號ニ基テ該海軍十五糎砲二門ヲ併シ指揮

三 現編成ニ於ケル 戰砲隊ヲ戰砲隊第一小隊トシ海軍十五加ヲ戰砲隊

第四小隊トナス

附屬指揮小隊及段列ハ變更ナシ

海軍十五加ノ掌握其他細部ニ関シテハ別命ス

五 其他ハ現任務ヲ續行スベシ

隊長 平山 大尉

下達法

報告(通報)失

旅團 独十五 第二歩兵隊 同第一大隊

第... 命

平山隊 命令

十月一日一七〇〇

一 新行橋ニ於テ放列陣地構築作業ハ近ク概成ニ達セリ
二 隊ノ主力ヲ以テ複廓内ニ構築スベキ放列陣地ノ作業ニ着手シ成ル可ク速クニ之ヲ概成セシトス

三 河村中尉ハ戦死隊ヲ指揮シ十月五日ヨリ左分隊ノ十月十日ヨリ右分隊ノ工事ニ着手シ十月中旬迄ニ之ヲ概成スベシ
陣地ハ五〇〇砲爆彈ニモ抗堪シ得ル砲ヲ持テ堅固ナラシメ先ヅ砲車掩体(洞窟)ヨリ着セシ

角田伍長以下第一分隊ノ人員ハ十月十日迄ニ新行橋陣地ノ補備作業並ニ野戦陣地ヨリ新行橋ヘ陣地繰反換ヲ完了シタル後新陣地ノ作業ニ着手マシムベシ

十月五日迄吉彌候部伍長以下戦死隊第一分隊ノ人員ヲシテ新陣地ノ木伐伐採運搬ニ任セシムベシ

陣地構築ノ細部関シハ現地ニ於テ指示ス

四 古賀中尉ハ指揮小隊ノ人員ヲ指揮シ十月十日迄ニ桃山一ノ大嘉陽道ノ十月末日迄ニ大嘉陽一ノ芭蕉敷道ノ構築ヲ完了スベシ
視測所ノ構築ニ関シハ別命ス

五 高田准尉ハ段列要員ヲ指揮シ十月五日迄木伐伐採ニ任シタル後十月十日迄ニ彈藥燃戦用糧秣ノ新行橋ヘ分散格納ヲ完了シ

後再び新陣地ヘ木伐伐採運搬ニ任ズベシ
作業員ハ概シ百名ヲ道ノ構築ニ五〇名ヲ補備作業ニ百名ヲ木伐伐採運搬残余ヲ新陣地ノ構築作業ニ任ゼシムルハ細部ハ土山曹長之ニ区畧スベシ
爾餘ノ者ハ前任務ヲ續行スベシ

隊長 平山 大尉

報告(通報)先

- 旅団 独根五
- 砲兵隊 工兵隊
- 第一歩兵隊 回莖大隊

口達

極秘

平作命第十二號

平山隊命令

十月八日一五
邊名地

一情報依ハ「マリア」方面敵機動部隊空襲公算アリ

本十月八日一〇〇〇南西諸島全地区ニ對シ丙號戰備下令セラル

二隊ハ予計画正所基ニ速ニ丙號戰備態ハ勢ニ移行シ特ニ對空戰

備ヲ強化セントス

三高田准尉敵敵ニ現在常備ニ得ル最大限人員ヲ指揮シ彈

藥燃料戰用糧秣ヲ新行橋灣地ニ令敵ニ任スヘシ

自動貨車ニヲ配當ス

四角田伍長ハ自己分隊ヲ指揮シ直ニ宿營地ニ歸還シ右砲車ヲ

撤去シテ新行橋灣地所ニ彈敵攻容スヘシ

五新井軍曹ハ道路作業ヲ小田軍曹ニ申送り兵十名ヲ指揮ス

高田准尉、指揮官に任ぜられ、
六衛兵、對空監視哨、任務ヲ兼テ行ハス
七、其他ハ別命アル迄、現任任務ヲ續行スベシ
八、予ハ一二三ヲ以テ、新行橋ニ在リ

隊長 平山大尉

下野達、口達

報告(通報)先

振團、鉄道工兵、基歩兵隊、同基大隊
砲兵隊、工兵隊

教
隊命令第十三號

平山隊命令

十月八日一九〇〇
邊 兵 地

一 敵情ニ関シテハ其ノ後新報ヲ得ズ

二 隊ハ本八日夜ヲ徹シテ現態勢ヲ益々強化シ以テ速ニ對空

準備ノ完璧ヲ期セトス

三 戰隊ハ主力ヲ以テ新行橋掩蔽所ノ增強ニ任スルト共ニ

一部ヲ以テ現陣地左隊車ノ撤去新行橋ヘノ分散ニ任

ベシ

四 古賀中尉ハ高田准尉ヨリ其ノ任務ヲ繼承シ指揮小隊ニ

段列ノ一部ヲ合メ指揮シ明九日〇九〇〇迄ニ彈藥燃料

材料糧秣ノ順ニ新行橋掩蔽部ヘノ分散格納ヲ完了スベシ

自動貨車ニヨリ配當ス

五 高田准尉ハ現任務ヲ古賀中尉ニ申送り直ニ準備ニ全ク注

藤軍曹以下ノ牽引車組立作業ノ指導ニ任スベシ

六 夜間作業ニテハ燈火ノ使用ヲ極力制限シ持ニ上空ニ對シテ

接火光ヲ露呈セシナル如ク注意スベシ

七 總テ車輛ノ夜間運行ハ無燈火トシ誘導者ヲ附シ重車輛

ハ二時以内輕車輛ハ四時以内トスベシ

八 其ノ他ハ前任務ヲ續行スベシ

九 對空準備完了後ノ行動ニ関シテハ別命令

隊長 平山大尉

下達法
報告(通報)失

口達
旅團 獨浪五
砲兵隊 工兵隊

草一歩兵隊 同草一大隊

平作命第十四號

本 秘

平 山 隊 命 令

十月十七日 一九〇〇
邊 石

- 一 過去數日來ニ互ル台湾南西諸島附近ニ於テ爾彼我ノ狀況ニ關シテハ既ニ諸子ノ熟知セル通り旅團ハ甲號戰備ノ下令ヲ顧慮シ諸準備特ニ對艦砲射撃ニ備ヘ且對戰車ノ攻手ノ教育ヲ促進スルノ企圖ヲ有ス
 - ニ 隊ハ右企圖ニ基キ成ル可ク速カニ芭蕉敷(船屋台)附近ニ移駐スルト共ニ全カヲ傾注シテ新陣地ノ工事ニ着手シ晝夜兼行ヲ以テ至短時日ニ之ヲ擬成シテ作戰準備ヲ促進セシトス
 - 三 戰砲隊ハ先般示シタル部署ニ基キ成ル可ク速カニ新陣地ノ工事ヲ再興シ特ニ左分隊ノ工事ヲ重點的ニ促進スベシ
 - 四 指揮小隊ハ芭蕉敷南側高地(黒嶽ト命名ス)ニ觀測所ヲ構築スシ十月中旬迄ニ之ヲ擬成セシムベシ
- 作業實施ノ細部ニ關シテハ現地ニ就キ之ヲ指示ス

五段列ハ芭蕉敷附近ニ於テ成ル可ク速カニ工事ニ着手シ十月中旬迄ニ之ヲ概成セシムベシ

作業員施ノ細部ニ関シテハ現地ニ就キ之ヲ指示ス

六新陣地ノ施設程度強度基準及數量表附表第一ノ如シ

七工事ニ方リテハ偽裝ニ関シ係業中ヨリ之カ萬全ヲ期シ荷クモ偽裝不良ニ基キ敵彈ヲ吸收スルガ如キコトナキヲ要ス

八大嘉陽一芭蕉敷道ノ構築ハ一時中止スルモノトシ再興ノ時期ハ別命ス

九邊石地ヨリ芭蕉敷ヘノ移駐ハ明十八日ヨリ逐次之ヲ開始シ二十日迄

ニ之ヲ完了スルモノトシ其ノ順序ノ方法並ニ宿營給養ノ細部ニ関シテハ古賀中尉ヲシテ之ヲ指示セシム

十古賀中尉ハ移駐ニ伴フ通信網ノ改編ニ任ジ十月二十二日迄ニ新行橋船窪台、船窪台一旅團直通既設線間ヲ構成シ且邊石地一

旅團直通既設線、邊石地一新行橋間ヲ撤收スベシ

十一對戰車肉攻教育ハ起亦直後、作業中休時或ハ夕食前等際細ナル時間ヲ利用シテ之ヲ實施スベク其ノ要領ニ関シハ別ニ之ヲ指示ス

十二予ハ主力ノ移駐時以後船窪台ニ在リ

隊長 平山大尉

下達法 口達

南北

新地區隊 井川隊

砲兵隊

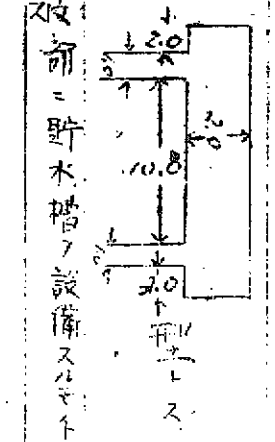
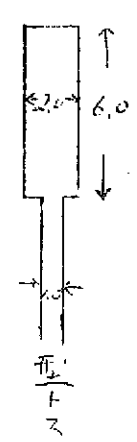
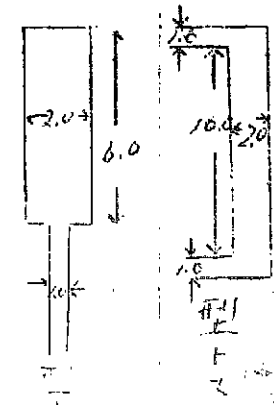
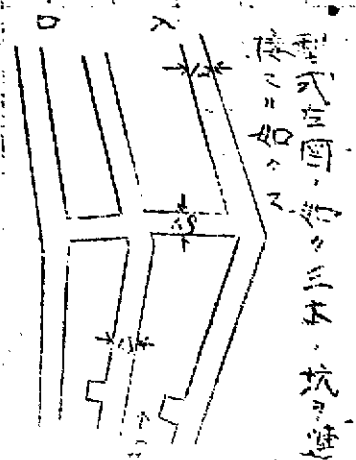
工兵隊

報告(通報先) 旅團

表第一 (平作命第十四號)

陣地施設程度基準及數量表

區分施設程度		強度	施設數量	摘要
監視用掩体	二名ヲ收容シ得シム	基準	2	露天
自衛用掩体	小銃十名余トス	基準	2	中掩体
視号通信用掩体	回光機ニ收容ス	基準	1	坑道
指揮所	附屬及電話機ニヲ收容ス	掘壕	1	
無線通信所	無線機一及電音子ニヲ收容ス	掘壕	1	
掩体人員棲息用	指彈機關ノ棲息用ニシテ約三十名分トス	掘壕	1	
蔽糧庫	糧秣ニテ月分(指彈機關用)ヲ收容ス	掘壕	1	
部器	九六式重砲觀測具ヲ收容ス	掘壕	1	
廁所	大砲及射擊糧秣一基數ヲ收容ス	掘壕	2	
掩体	大砲ヲ掩護シ得ル如クス	掘壕	2	
空砲身車掩体	一輛一掩体	掘壕	2	
牽引車掩体	一輛一掩体	掘壕	2	
掩体人員棲息用	各分隊人員ヲ收容シ得シム	掘壕	2	
蔽燃料用	トランプ罐一日本及指油五樽ヲ收容シ得シム	掘壕	2	
蔽器	各分隊大砲屬部器ヲ收容シ得シム	掘壕	2	
部糧	糧秣ニテ月分(戰隊用)ヲ收容ス	掘壕	2	
廁所	西分隊二個宛	掘壕	2	
彈藥庫	彈丸一基數宛分置ス	掘壕	2	
火藥庫	爆藥小銃機關銃彈藥ヲ收容ス	掘壕	1	
油脂庫	トランプ罐二日本及指油五樽ヲ收容シ得シム	掘壕	3	
糧秣庫	糧秣ノ残余ヲ收容シ得シム	掘壕	3	
兵器庫	予備兵器ヲ收容シ得シム	掘壕	2	
兵器庫	予備被服等ヲ收容ス	掘壕	1	
人員用棲息掩蔽部	銃列人員ノ棲息用トス	掘壕	1	
貯水	約八五ガリ(週回分)ヲ貯水シ得シム	掘壕	1	
倉庫	薪炭其他雜品ヲ收容ス	掘壕	1	
自動貨車掩体	一輛ニ掩体トシテ一八露露天	掘壕	2	
炊事場	一八半坑道式トス	掘壕	1	
鍛工場	器械修理場トシ掘壕内ニ收容シ得シム	掘壕	1	
廁所	一	掘壕	1	



掘壕ニ貯水槽ヲ設備スルベシ

掘壕ニ夜蓋ヲ冠ス

准

平作命第十五號（獨混四旅作命第五九號）

教

平山隊命令

十月十六日

一 旅團ハ情勢ノ緊迫ニ鑑ミ複廓陣地内ニ於ケル軍需品ノ集積ヲ促進ス

二 隊ハ獨混四旅作命第五九號ニ基キ輸送ノ夕々自動貨一

輛（所要燃料共）ヲ差出サントス

三 運轉手森吉一等兵助手松野一等兵ハ自十月十七日間旅

團司令部ニ至リ輸送ニ任スベシ細部ニ関シテハ田尻中尉ノ指

示ヲ受クベシ

四 派遣間ノ給養ハ旅團司令部ヨリ之ヲ受クベシ

隊長 平山 大尉

下達法 関係者ニ口達ス

報告先

44GBs

平作命第十六號

平山隊命令

十一月三日

一本三十三日那霸ヨリ廻航セル輸送船小松丸ニ當隊用ノ銃糧
六口ヲ發シ裝藥・信管・門管共一積載シ目下渡久地軍頭
碇泊中ナリ

二隊ハ主カヲ以テ成ル可ク速クニ該彈藥ノ揚陸及新行橋陣地
分散格納ヲ實施セントス

三古賀中尉ハ船陸合作業員中四〇名ヲ指揮シ明ニ四日ロ七三〇
ヨリ水上勤務隊員ノ協力ノ下ニ彈藥ノ揚陸新行橋ヘ運
搬格納ヲ實施シ成ル可ク速クニ之ヲ完了スベシ

自動貨車一ヲ配當ス

返航彈藥ニ関シニハ曉部隊小松丸船長ト協定ノ上別ニ指示ス
西河村中尉ハ船陸合作業要員中四〇名ヲ明ニ四日ロ七三日迄
ニ新行橋ニ於テ古賀中尉ハ指揮ニ入レシムベシ

五其、能、前任務ヲ續行ス
 六予、暫、三四五〇七三、以降、頭ニ在リ
 隊長 平山 大尉
 通信 旅團 砲部隊 球兵站支隊

平作命第一七號

山陣命令

五月六日、六時

一隊主力八十月十日迄ニ船窪台附近ニ幕営取置ヲ完了スルト共
 二現陣地構築作業ヲ中絶セシメサル如ク有力ナル一部ヲ以
 テ兵舎ノ建築ニ着手シ十一月二十日迄ニ之ヲ完成シテ民家ト
 完全ニ離脱シ、衛生防諜其他ノ向題ヨリ隔絶シ作戰準
 備ニ専念セントス

二各小隊ハ左記ニ基キ作業ヲ実施スベシ

左記

一作業日課予定表

第一期 自五月七日 至五月十日

取敢ハス幕舎ヲ構築シテ速カニ民家ト離

脱スルト共ニ新兵舎建築ノ為ノ材料收

集、經始及基礎工事

第二期 自五月十一日 至五月十五日

兵舎構築作業

六、各小隊ハ(一)〇南西空襲ノ戦訓及屢次ニ亘ル訓示及注意ニキ
キ之ガ具現徹底ヲ期スルト共ニ人員ノ夜護ニ固クテハ目下ニ事
中ノ坑道内ニ退避スル如ク又天幕及假小屋ノ分散適蔽
偽装ニ徹スベシ

七、各級幹部ハ前諸項ノ旨履行ヲ最ニ堅固スベシ

隊長 平山大尉

下達法 (口達)

報告(通報先) 旅團 南地區隊

平作命第十九號(獨混四旅作命第七八號)

平 山 隊 命 令

十一月二十日

一、旅團ハ筑城材料ノ伐採作業ヲ實施ス

二、隊ハ一部ヲ以テ本作業ニ参加セントス

三、各小隊ハ兵三、鋤、鉋、斧各一ヲ差出シ新兵軍曹ノ指揮ヲ受ケシムベシ

四、新兵軍曹ハ前項人員ヲ指揮シ左記ニ依リ十一月二十日口八時迄ニ伊豆味園民學校ニ至リ藤原少尉ノ指揮ニ入ルベシ

左 記

1. 期間 十一月二十日より概ネ三十日間

2. 服装 軍装

3. 宿營給養ハ之ヲ南地區隊ニ於テ担任セラレ

五、派遣間主カトシ連絡ハ南地區隊ヲ通ジ之ヲ行フベシ

六、予ハ十一月二十日以降芭蕉敷ニ在リ

下違法
報告先
通報先
隊長
平山大尉
要旨電話後口達
林園
南地區隊

平作命第二口號

平山隊命令

十一月二十日
能登台

一隊ハ現作業部署ヲ變更シ重点ヲ放列陣地ノ工事ニ指シテ
シテ砲車位置作業ヲ飛躍的ニ促進セントス
二指揮小隊及銃列ハ一坑道ノ掘進ニ必要ナル最小限ノ人員ハ各
ヲ以テ各々觀測所及彈藥庫洞窟作業ヲ續行セシムルト共ニ
各一名ヲ高田准尉ノ指揮ニ殘餘ヲ河村中尉ノ指揮ニ入ルベシ
三高田准尉ハ前記兵員及作業員ヲ指揮シテ十二月二十日迄ニ完
成スル如ク兩分隊進入路ノ構築ニ仕ズベシ
四河村中尉ハ指揮小隊及銃列ヨリ差出サレタル人員ヲ併セ指揮
シ左記要領ニ基キ砲車位置構築作業ヲ續行シ候クモ
十二月二十日迄ニ火砲ノ進入ヲシテ可能ナラシムル如クスベシ

左記

人員部署
甲班
第一分隊 角田伍長以下
第二分隊 小野山兵長以下

乙班 第一分隊 中岡兵長以下

第二分隊 吉彌候部伍長以下

2. 作業要領

(1) 晝夜ニ交代トシ前段自〇七時後段自一二時ニ區分シ甲乙班ハ一週間毎ニ作業時間ヲ交代ス

(2) 後段作業人員ハ翌午前中休養セシム

(3) 第一週前段ハ甲班トス

五 石原伍長ハ指揮小隊1段列1戰砲隊ヲ進入路構築班5ノ割合ニ作業員ヲ配當スベシ

六 觀測所及彈藥庫ノ工事ハ人員ノ關係之ヲ許ス場合ニハ第4項ニ準ジ夜間作業ヲ行ヒ其ノ進捗ヲ圖ルベシ

隊長 平山 大尉

下違法 口達

報告先 旅團

〔平作命第一二號一獨混四旅作命第一八號〕

平山 隊命 令

十一月二十一日 九時

一 進入路構築ノタメ旅團工兵隊ノ一部ヲ援助セシメラル

二 隊ハ右援助下ニ陣地構築ヲ促進セントス

三 高田准尉ハ援助人員ヲ併セ指揮シ前任務ヲ續行スベシ

四 援助人員ノ進入路構築間ノ給養ハ當隊ニ於テ担任スレモノトシ宿營ハ戰砲隊宿舍ニ準備スベシ

隊長 平山 大尉

下違法 電話

報告(通報)先 旅團 工兵隊

平作命第三十二号(平作命第七号)

平山 隊 命令

一三、五、一、六〇。 邊名地

一 旅團ハ球作命甲第一号別冊ニ基キ新作戦ノ轉移ヲ準備ス
隊ノ任務ハ依然變化ナク十二月一日ヨリ新ニ第二歩兵隊ニ配屬セラル
二 隊ハ一部ヲ以テ第二歩兵隊トノ有線連絡施設ヲ實施セント
ス

三 古賀中尉ハ在伊豆味第二歩兵隊本部トノ連絡ヲ可能トシ
ムル如ク船窓台一眞部山交換間ニ有線一回線ヲ構成シ明
六日正午迄ニ之ヲ完成セシムベシ

四 其他ハ依然現任務ヲ續行スベシ

隊長 平山 大尉

下達法 口達

報告(通報)先 第二歩兵隊 同第一 第二大隊

平作命第二十三号

平山隊命令

一、二、五、〇、〇、〇
邊名地

一、船窪台一号兵舎ハ概成ノ域ニ達セリ

二、隊ハ在邊名地人員器材ヲ成ル可ク速カニ船窪台ニ移轉集結シ戰カノ統合強化ノ期セントス

三、上山曹長ハ明後七日一八〇〇迄ニ事務室ノ金井軍曹及中村軍曹
ハ七日正午迄ニ夫々兵器事務室、經理事務室ノ船窪台一号兵舎
ヘノ移轉開設ヲ完了スベシ

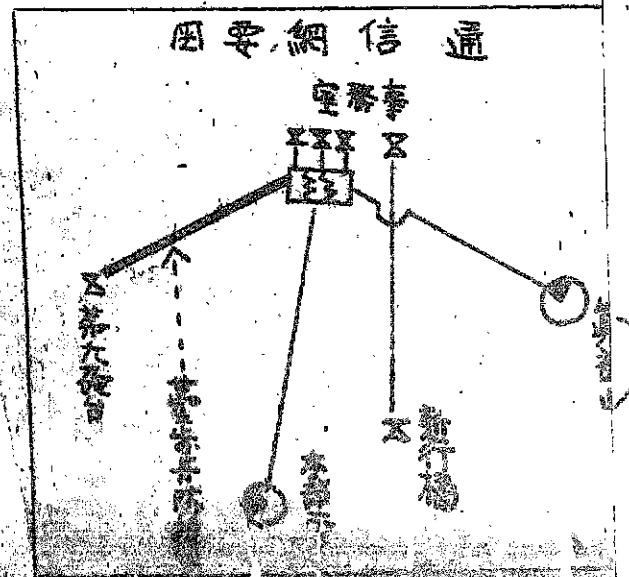
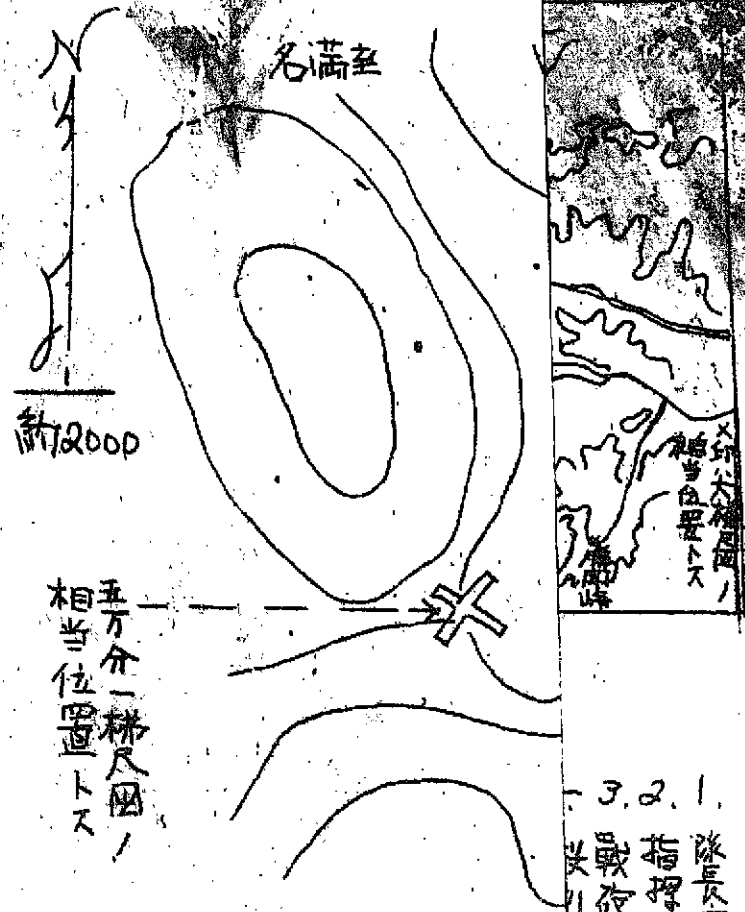
移轉ノタメ自勤貨車一ヲ配當ス

四、稀代軍曹ハ移駐完了後邊名地ヲ撤シ炊事ヲ船窪台ニ集結ス
ベシ

五、古賀中尉ハ事務室ニ移轉ニ伴ヒ隊内外有線通信網ヲ左ノ如ク
改編スベシ

一、邊名地—独混十五交換間(往復線)

全線撤收



1. 隊長室、將校室、諸事務室、休養室
2. 指揮出隊
3. 戦役隊

1/5 ✓

2 邊名地 - 本部郵便局交換間 ()) 全線撤收
 3 邊名地 - 新行橋間 ()) 当初一線、撤收
 4 船窪台 - 本部郵便局交換間 (軍隊) 新ニ最短経路ヲ以テ構成
 右作業ハ明六日ハ〇〇迄ニ完成スベシ
 5 事務室、移轉完了セバ辺名地 - 新行橋間撤收
 6 船窪台 - 真前山交換間、及船窪台 - 新行橋間如故
 6 船窪台、移轉集結ニ伴フ宿營取置並ニ通信網要図附圖、如
 七、予ハ明後七日夕以降船窪台ニ轉伍ス

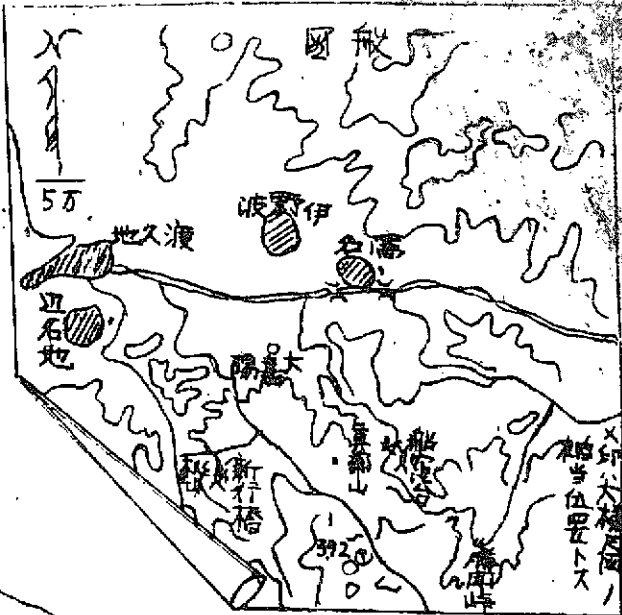
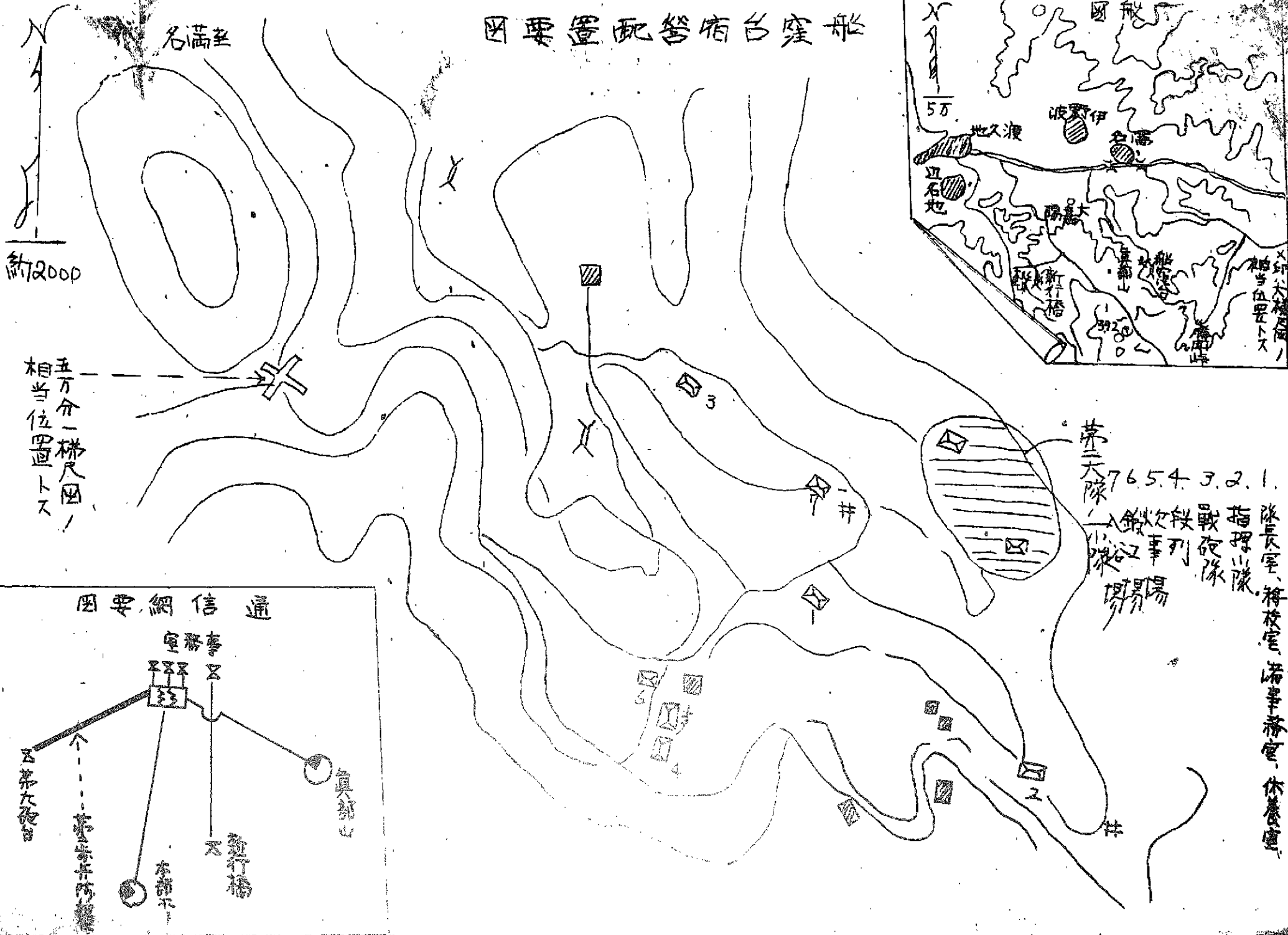
下達法 電誌

隊長 平山 大尉

報告(通報先) 第二歩兵隊 同第一、第二大隊 沖繩第九砲台

第一護衛隊

船空台宿警配置要圖

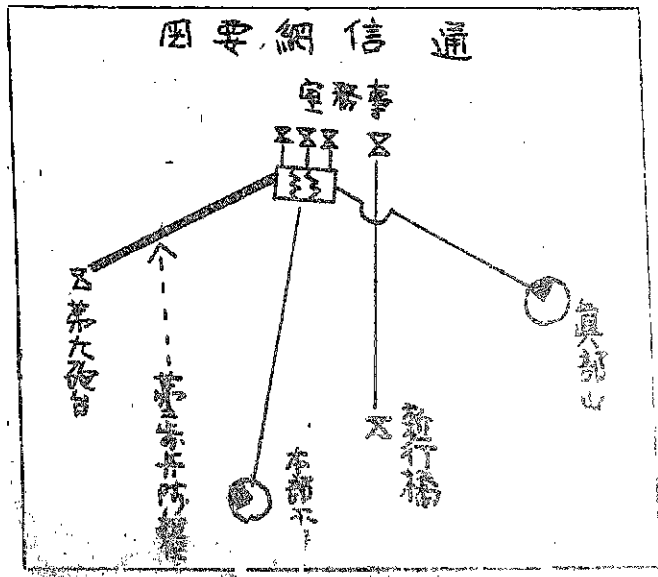


約2000

五万分一標尺圖ノ相当位置トス

第七大隊
 1. 隊長室、檢校室、滿事務室、休養室
 2. 指揮隊
 3. 戰役隊
 4. 炊事隊
 5. 鐵工隊
 6. 馬場
 7. 野戰

通信網要圖



平作命第二十四号(宇作命第八号)

平山隊命令

一三・九・二〇〇〇
船倉 五

一、敵機動部隊近接ノ徴アリ

支隊ハ丙号戦備ヲ實施セラル

二、隊ハ對空準備ヲ強化シ特ニ早朝薄暮ノ奇襲ニ備ヘントス

三、各小隊ハ宿舍附近及作業場ノ偽裝ヲ強化スルト共ニ夜間

ノ遮蔽分散掩護ノ徹底ヲ期スベシ

四、新行橋衛兵ハ對空監視哨勤務ヲ兼ネ行ヒ特ニ早朝薄暮

時監視ヲ嚴テラシムルト共ニ控兵ヲシテ陸地附近ノ偽裝ヲ補

備セムベシ

隊長 平山大尉

下達法 一達

報告先 21

昭和二十年度

平山隊命令

平作命第一號

平山隊命令

昭二〇一三
一〇
台

一〇九五〇 沖繩本島地区ニ空襲警報發令セラル

敵情ニ関シテ情報ニ接ス

二各小隊ハ直ニ重要兵器資材、壕内ノ分散ヲ行ハル後

現作業ヲ續行スベシ

三指揮小隊ヨリ対空監視哨ヲ配置スベシ

四余ハ事務室ニ在リ

隊長 平山大尉

下達法 口達

報告先 此 四

平作命第二號

平山隊命令

一月五日 船 合

一 中隊ハ一時現作業ヲ中止シ明六日ヨリ全カヲ込テ進入路ノ設定ヲ促進セントス

二 河村中尉ハ戰砲隊ノ主カヲ指揮シテ右分隊側ヨリ古賀中尉ハ指揮小隊及中隊後列ノ主カヲ指揮シテ左分隊側ヨリ進入路ノ設定ニ任ジ極力之ヲ促進シ一月十日迄ニ之ヲ完成セシムベシ

三 各小隊ヨリ各兵三名ヲ抽出シ新井軍曹ノ指揮ヲ受ケシムベシ

四 新井軍曹ハ前記人員ヲ指揮シテ伊豆味ニ露路啓シ一月五日ヨリ一月十日ニ至ル間木枝伐採運搬ニ任ズベシ
自動貨車一ヲ屬ス

給養ハ現品携行自炊ニ依ルベシ

細部ニ関シテハ古賀中尉ノ區處ヲ受クベシ
五各小隊ハ各兵ニヲ以テ船燈台附近ニ於ケル枝木集積ニ任
セシムベシ

六 落合兵長以下四名ハ依然牽引車ノ整備ヲ續行シ一月十日
正午迄ニ之ヲ完了スベシ

七 進入路完成後ノ行動ニ関シテハ別命ス

隊長 平山 大尉

下達法 口達

報告先 21

平作命第三號(宇作命第一號)

平山隊命令

一月五日 三二〇
船燈台

一 情報ニ依レバ一昨日迄三日迄昨日ノ空襲ハ敵第三十八機動部
隊ノ蠢動ニ依ルモノノ如ク尚引續キ奇襲ノ算アリ

二 中隊ハ敵ノ奇襲攻撃ニ備ヘントス

三 當分ノ間指揮小隊ヨリ對空監視哨一ヲ配置シ起床時限
ヨリ晝食時限迄服務セシムベシ

四 新行橋衛兵ハ依然一部ヲ以テ對空監視ヲ續行スルト共ニ
特ニ夜間及拂曉時ノ警戒ヲ嚴ナラシムベシ

五 各小隊ハ主要兵器資材ヲ分散掩護遮蔽シ被害局限
處置ヲナシタル後現任務ヲ續行スベシ

六 情報特ニ警戒報ノ速達ヲ期スル爲中隊附屬一名ハ電
話機附近ニ喇叭手ハ事務室附近ニ常時位置スベシ

七 余ハ船燈台作業場ニ在リ

隊長 平山大尉

下違法 小隊長ニ對シ各別ニ衛兵ニ對シ電話口達
報告先 24

平作命 第四號

平山隊命令

一月十二日〇七二〇
發令

一 進入路ノ設定ハ諸子ノ努力ニヨリ短期間ニ完成ノ域
ニ達セリ

二 中隊ハ陣地構築ヲ續行セントス

三 各小隊ハ各々其ノ陣地ノ構築ニ着手スベシ

隊長 平山大尉

報告先 24

平作命第五號（宇作命第六號）

平山隊命令

一月十四日一八〇〇

一、國頭支隊八兵ノ慰安施設增強ノタメ一月十六日ヨリ約十日間ノ豫定ヲ以テ眞部山陸地内ニ兵寮ヲ築造セラル

二、中隊ハ之ガ築造ノ爲一部兵力ヲ差出サントス

三、指揮小隊及戰砲隊ヨリ各々兵一名ヲ差出シ一月十六日〇八〇〇迄ニ滿名運立橋ニ到リ第二歩兵隊中島主計大尉ノ指示ヲ受テ右作業ニ参加セシムベシ
服装ハ單獨ノ軍装トシ晝食・土工器具ハ円匙・十字鋏各一ヲ携行トス

隊長 平山大尉

下達法 口達

報告（通報）先

20 1/2

平作命第六號(宇作命第八號)

平山隊命令

一月十五日 一八〇〇

一 國頭支隊ハ新ニ伐採隊ヲ編成シ築城ヲ促進スルノ企圖ヲ有ス

ニ 中隊ハ一部ヲ以テ本作業ニ参加セントス

三 指揮小隊ヨリ一月二十日以降兵一〇名ヲ差出シ第二歩兵隊西村中尉ノ指揮ヲ受テ伐採作業ニ任ゼシムベシ

左記

1. 期間 一月二十日ヨリ概ネ三十日間

2. 差出場所日時 一月二十日〇八〇〇伊豆味國民學校

3. 服裝 軍裝トシ毛布携行

4 宿營給養 國頭支隊本部ニ於テ担任

隊長 平山大尉

下達法 口達
報告先 此

平作命第七號

平山隊命令

一月二十日〇〇三〇

一中隊ハ火砲ノ機能ヲ莫檢スルト共ニ砲手ヲシテ發射時ノ感覺ヲ知得セシムル目的ヲ以テ試驗射撃ヲ實施セントス

二戰砲隊ハ本二十日ヨリ整備訓練並ニ射撃ヲ準備ニ任ジ二十四日〇八〇〇迄ニ邊石地西側台地ニ於テ發射準備ヲ完了スベシ

砲車位置、首線方向、照準莫其ノ他陣地進入ノ細部ニ関シテハ現地ニ於テ之ヲ指示ス

本期間邊石地ニ宿營シ給養ハ現品携行自炊ニ依ルベシ

三指揮小隊ハ二十日迄進入路ノ補修ニ任ジタル後戰砲隊ノ陣地設備ヲ援助スベシ

射撃時ニ於ケル觀測所ハ邊石地分校西方台地トシ配置並ニ設備ノ細部ニ関シテハ現地ニ於テ之ヲ指示ス

四中隊隊列ハ二十日迄進入路ノ補修ニ任ジタル後新行橋兵器

資材、船臺台へ、運搬ニ任ズルト共ニ二十四日〇七三〇迄ニ大
銃彈各門五發ヲ砲測ニ校正備スベシ

五高田准尉ハ射撃當日警戒掛長トナリ中隊隊列要員ヲ以テ射
撃教範第四百九ニ示ス任務ニ服スルト共ニ觀測所ニ對空監
視哨一ノ對空機關銃一ノ實定一箱携行シテ配置スベシ

六射撃當日、服装、軍裝ニシテ背負袋小銃被甲ヲ除ケモ、
トシ砲手ハ雜糞水筒ヲ除ケモトス

七射撃當日ニ於ケル人員部署別紙、如シ
ハ射撃開始ハ〇ハ三〇トマー走スルモ別命ス

九試驗射撃終了後、行動ニ関シテハ別命ス

隊長 平山大尉

下達法 口達

報告(通報)先

2i

I/2i

II/2i

1/1000

1/1000

正作命第七號別紙

試驗射擊當日人員部署

區		射		擊		部		隊		殘		衛		兵				
所	觀	測	所	警	戒	掛	放	陣	地	列	船	台	新	橋	行			
中隊長 土山曹長	傳 喇以 生兵	古賀中尉 新井軍曹	觀測手一 通信手一	高田中尉 警戒兵五 射擊監視哨三 機筒銃手三	河村中尉 前田軍曹 右分隊砲手 吉備彦新軍曹 左分隊砲手	金井軍曹 火工兵一	自動車十四 牽引車手四 炊事兵二	小田桐軍曹 佐藤軍曹 憲兵列兵殘員	奧村兵長以下八名	前任任務續行	兵舎附近、偽裝 進入路、補修 陣地構築等	監視	彈藥整備	射擊	砲隊鏡一、設置 船臺台下、連絡 〇〇三、近三警戒配置完了 警戒兵八、赤旗畫、食博行 任務解除時機、別命	射擊前日ヨリ邊行地ニ宿營 車輛、整備、戰砲隊援助 ニ任ズ	徵傭勞務者ヲ使用ス	要

員、任、務、摘、要

平作命第八號(宇作命第十三號)

平山隊命令

一月二十日一七三〇

一國頭支隊ハ富士作命第五號ニ依リ渡久地ニ於テ豫備糧秣ノ揚陸ヲ實施セラル

二中隊ハ一部ヲ以テ本作業ニ參加セントス

三指揮小隊長ハ兵三、銃列長ハ兵ニヲ差出シ一月二十日

同二十日兩日ハ。造ニ晝食携行ノ上先任者ノ指

揮ヲ以テ渡久地國頭支隊連絡所ニ到リ中島主計

大尉ノ指示ヲ受テシムベシ

隊長 平山 大尉

下達法 口達

報告先 2i